

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名：TAKUMI祖師ヶ谷大蔵

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	法令順守、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	常時指導員は3名以上の体制となっており、しっかりサポートできる配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	建築基準法に基づきバリアフリー化の配慮を行っているが、トイレ前に段差があるため、人的サポートによる配慮をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	生活空間は、毎日掃除をして清潔に保つよう努力している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行っている。また、終了時に次回の療育に繋げる対策を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	昨年度実施した自己評価の結果を受けて、アンケートの回収方法など改善した。また今回の結果を踏まえて、避難計画の周知など改善していく予定。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	HPで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っておらず、今後も予定はないが、必要に応じ検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	興味や必要に応じ外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けている。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名：TAKUMI祖師ヶ谷大蔵

		チェック項目	改善目標や工夫している点
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認して、個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	子ども一人ひとりのサービス計画に沿って、自立支援・日常生活の充実のための活動等を複数合わせて行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	計画を作成する際も、すべての職員が参加して意思統一を図っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	子どもの発達・成長に合わせ、必要に応じて臨機応変に行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行い、子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出し、支援方法や役割分担を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず打ち合わせの時間を確保し、気づいた点や改善点を洗い出している。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名：TAKUMI祖師ヶ谷大蔵

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録にも記入し、検証している。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的（6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行っている。それに合わせ、児発管、指導員でミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	現在はサービス担当者会議は行っていないため参加はしていないが、担当者から徴収があれば児発管が参加する予定。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	直接の連携は行っていないが、情報の共有など連携できる体制は整えている。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	当事業所には、医療的ケアが必要な子どもは通所していないが、今後必要に応じて連携できる体制を整えていく予定。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	当事業所には、医療的ケアが必要な子どもは通所していないが、今後必要に応じて連携できる体制を整えていく予定。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	当事業所は送迎がないこともあり、保育所や園との情報共有は行っていない。その代わりに、保護者から間接的に情報をもらうことがあるので、今後必要に応じて連携を検討していきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者からの依頼に応じる形で、就学支援シートの提出など、情報を共有できる態勢は整えている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	区市町村(三鷹市・練馬区等)が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、行っている。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名：TAKUMI祖師ヶ谷大蔵

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも必要との声が聞こえてこないため、今後必要性を検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	各自治体の方針によって参加の有無が異なっているが、当事業所では年に2回、管理者が出席している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	ペアレント・トレーニングの外部研修で学んだことを、家庭での必要性に応じて、面談や振り返りの際に個別に伝えている。
保護者へ	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	定期的(6ヶ月ごと)に保護者の方と面談を行い、支援計画の説明と同意を頂いている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会はないが、当事業所は保護者の見学スペースを設けており、多くの保護者の方が見学されているので、そこで保護者同士関わりをもっている。(但し、一部の保護者は希望しない方もいるので慎重に対応したい)

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名：TAKUMI祖師ヶ谷大蔵

		チェック項目	改善目標や工夫している点
の 説 明 責 任 等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているつもりであるが、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口の設置を検討していく予定。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	口頭での連絡が多いが、必要な場合は紙面での伝達を行っている。今後、活動概要や行事予定等必要に応じて教室内に掲示するなどして発信していく予定。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料は、極力シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしているが、PC等からの個人情報へのアクセスについてはまだ不十分な面があるため、今後必要に応じ検討していく予定。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	必要に応じて、重要事項は文書として渡すなどの配慮を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非 常 時 等 の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	左記マニュアル類はできているが、職員や保護者へ周知はできていないため、今後周知徹底していく予定。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年2回（9月と3月）に実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約の際に提出していただくフェイスシートにて確認しており、スタッフ間で情報の共有をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	当事業所では食物の提供をしていないが、契約の際の面談時に、アレルギー情報は提供していただいて、スタッフ間で情報の共有をしている。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名：TAKUMI祖師ヶ谷大蔵

		チェック項目	改善目標や工夫している点
対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	担当者が東京都主催の虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となりスタッフに講習している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。今現在、当事業所において拘束等は行われていない。

## 保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2022年度期

事業所名：TAKUMI祖師ヶ谷大蔵

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	0	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの変化や「楽しい」との発言からよく関わってくれていると思う。</li> <li>・先生の異動が多く残念に感じることもある。</li> <li>・人事異動に関して子どもたちに不安を与えないように配慮しますとお知らせがあったが、具体的にどのように対応するのか？</li> </ul>	今後もサービス向上に努めていく。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	0	0		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9	0	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	0	0		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0	フィードバックで児童が運動にどう取り組んだのか？どのような意味を持つのか？わかるような案内がほしい。	保護者にとってわかりやすいフィードバックに努める。フィードバックの内容を職員間で共有する。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	0		

A:はい B:どちらともいえない C:いいえ D:わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	4		
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	0	0	1	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	9	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	3	1	2	ペアトレーニングなどのプログラムがあれば参加したい。	現状のサービス提供を維持していくが、ペアトレは行っていない、今後も現状予定はない
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	0	0	0	子どもの近況を聞いてくれる。頼りにしている。	今後もこういった保護者の期待を感じて職務を務める。
保護者への説明等	14 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	0	0	・とてもありがたいです。いつもありがとうございます。 ・具体的な対策を伝えてくれる。	さらなるサービス向上に努めていく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	5	4	保護者会はやりすぎだと思うが、他の保護者と情報交換やお話してみたい。	保護者の集いを設定するかを職員間で話し合い、必要であれば検討していく。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	0	0	1		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	0	こどもの様子を動画で送ってくれたことがあった。親としてありがたい。	内容を吟味して必要があれば、現状のサービス提供を維持していく。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	0	1	0		
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	9	0	0	0	授業内容の報告は教室ドア前で話してほしい。他の保護者に聞かれているような雰囲気を感じる。	職員間で情報を共有して、保護者間のスペースを設けるなど対応策を検討する。

A: はい B: どちらともいえない C: いいえ D: わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9	0	0	0	避難訓練はとても良かった。しばらく家でまねしていた。	現状のサービス提供を維持していく
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	0	0	0		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントなど企画していただき楽しく通所させていただきます。</li> <li>・毎週楽しみにしている。</li> </ul>	さらなるサービス向上に努めていく。
	23	事業所の支援に満足しているか	9	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度4月より入所しております。先生方の入れ替わりが激しく親が不安に感じています。</li> <li>・先生方には子どもの気持ちに寄り添いながら支援していただき感謝している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の定着が図れるよう職場の環境設定に努める。</li> <li>・さらなるサービス向上に努める。</li> </ul>

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名：TAKUMI祖師ヶ谷大蔵

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。小学生の集団クラスで子どもが多い場合は、サーキットを2つに分ける等、運動量が確保できるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	配置加算を採用しているため、常時指導員は3名以上の体制となっており、しっかりサポートできる配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づきバリアフリー化の配慮を行っているが、トイレ前に段差があるため、人的サポートによる配慮をしている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行っている。また、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けアンケートを12月に実施し、評価の悪い項目については、ミーティングを重ね、今後計画的に改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	HPで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っておらず、今後も予定はないが、必要に応じ検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	興味や必要に応じ外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修はトレーニングセンターという部署を設けて、そこを中心として実施している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。

		チェック項目	改善目標や工夫している点
適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	子どもの発達・成長に合わせ、個人での立案と全体での立案を組み合わせ、必要に応じて臨機応変に行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休暇には特別プログラムを実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行い、子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を徴収し行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出し、ミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後に必ず打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録にも記入し、検証している。今後、動画での振り返りもできるように準備していく予定。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的（6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行っている。それに合わせ、児発管、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	子ども一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動（自立支援・日常生活の充実のための活動等）を複数合わせて行っている。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	現在はサービス担当者会議は行っていないため参加はしていないが、担当者から徴収があれば児発管が参加する予定。将来的には指導員の参加も検討していきたい。	

		チェック項目	改善目標や工夫している点
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	当事業所は送迎がないこともあり、学校との情報共有は行っていない。その代わりに、保護者から間接的に学校情報をもらうことがあるので、今後、必要に応じて学校との連携を検討していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様を通所していないが、今後受け入れる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有等を行っていないが、放課後等デイサービスや保険対象外の療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば対応している。今後、必要に応じ検討していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在障害福祉サービス事業所等へ移行する児童はいないが、その必要があれば、資料を提供できる体制は整っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	近隣で公開しているセミナーなどに参加しており、その中で積極的に情報収集を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも必要との声が聞こえてこないため、今後必要性を検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	各自治体の方針によって参加の有無が異なっているが、当事業所では年に2回、管理者が出席している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて状況や課題を共通認識している。
保護者	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレント・トレーニングの外部研修で学んだことを、家庭での必要性に応じて、面談や振り返りの際に個別に伝えている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している程度であるが、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。

		チェック項目	改善目標や工夫している点
への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会はないが、当事業所は保護者の見学スペースを設けており、多くの保護者の方が見学されているので、そこで保護者同士関わりをもっている。（但し、一部の保護者は希望しない方もいるので慎重に対応したい）
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているつもりであるが、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口の設置を検討していく予定。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	口頭での連絡が多いが、必要な場合は紙面での伝達を行っている。今後、活動概要や行事予定等必要に応じて教室内に掲示するなどして発信していく予定。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要に応じて、重要事項は文書として渡すなどの配慮を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	左記マニュアル類はできているが、職員や保護者へ周知はできていないため、今年度中に周知徹底していく予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回（9月と3月）に実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	担当者が東京都主催の虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となりスタッフに講習している。

		チェック項目	改善目標や工夫している点
等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	マニュアルも作成し、方法も組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、同意書のもと了承を得ている。現在、当事業所において拘束等を行われていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	当事業所では食物の提供をしていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、全職員で共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。

## 保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2022年度期

事業所名：TAKUMI祖師ヶ谷大蔵

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1	0	0	広々としていて垣間見ても気持ちが良い。	さらにサービス面での充実も図る。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	7	0	0	職員の異動が多すぎる。子どもが不安を感じている。	サービスや環境を今一度スタッフ間で見直す。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	6	0	0	教室内は適切。建物のエレベーターあるも階段を使用しなければいけないのが難。	教室内の環境を今後も設定していく。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	19	2	0	0		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	19	2	0	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	5	14	0	そのような機会は求めている。	保護者のニーズに合ったサービスを模索して提供していく。
保護者へ	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	2	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	2	2	0	毎回共有するが先生の異動が多く、深まりには疑問。	サービスの見直しを職員間で図る。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談の際には話を聞いてもらい支援につなげてもらってる。感謝している。</li> <li>・本当にありがたく、利用者として重要視している。</li> <li>・終了後の説明がもう少し効率的に実施できるようになってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなるサービス向上に努める。</li> <li>・効率化を図れるように職員でサービスの見直しを定期的に行う。</li> </ul>
10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	5	15	0	落ち着いたら進路アドバイスなど、経験された方から情報がほしい。	現状では予定にない	

A: はい B: どちらともいえない C: いいえ D: わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の 説 明 等	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	8	0	0		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが病気になりNGがあった。スタッフ間で共有されていないかった。</li> <li>・面談の時の声を子どもが聞いているかもしれないと思う時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今一度スタッフ間の情報共有を見直す。特に既往歴の共有などは注意を払う。</li> <li>・保護者が安心して面談ができるよう配慮を心がける。</li> </ul>
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	5	2	0		
	14 個人情報に十分注意しているか	17	4	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	4	3	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	0	0	0		
満 足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前向きに声かけをいただいている。</li> <li>・抵抗感は一切なく通っていく。</li> </ul>	さらなるサービス向上に努める。
	18 事業所の支援に満足しているか	18	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が変わってしまい残念。いい先生を変えないでほしい。</li> <li>・子どもに対して平等でない態度が見受けられた。</li> <li>・要望を踏まえて計画、柔軟に変更の上、様子をフィードバックしてくれる。感謝している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスや環境についてスタッフ間でできることはないか話し合い、今後の対応策を検討する。</li> <li>・スタッフの立ち振る舞いを保護者目線で考えていく。MTを定期的に設ける。</li> <li>・さらなるサービス向上に努める。</li> </ul>